

— 総括表 —		
◆ 事業計画		
<input type="checkbox"/> 地域の現状と今後の方向性 上飯田地域ケアプラザは上飯田地区、いちよう団地地区、上飯田団地地区の3地区を担当しています。3地区に共通する課題として、高齢化がすすみ地域活動の参加者が減少し、また地域活動の担い手も活動の継続が難しくなっているのが現状です。体力が低下しても可能な限り地域とのつながり、地域の活動に関心を持ってもらい、新たな担い手を発掘していけるよう支援していきます。ケアプラザとして地域のサロンなどの活動の後方支援やお祭りへの出店など、新しい生活様式に対応しながら地域活動への協力を行います。また外出困難な方への社会参加のために、近隣福祉施設と連携して地域での移動支援サービス体制を継続・実施していきます。加えて今年度は買い物支援サービスを継続実施していきながら、住民のニーズを反映した事業の展開と周知の方法について検討中です。		
<input type="checkbox"/> 今年度の重点的な取組		
新規	継続	— 具体的な取組内容 —
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	介護者の集いを隔月で開催します。参加者のコミュニケーションを図り、特にミニコーナーでは、相談機関や認知症などの対応を伝える場づくり、家族支援を行っていくことで、地域の皆様との信頼関係を構築して参ります。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	必要に応じて活動の場の情報提供をしたり、気軽に立ち寄れる居場所を作り社会参加を促します。また楽しみながら活動できる「地域巡り散策」を実施し地域の住民主体の活動に対して、介護予防の要素も取り入れて継続支援していきます。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	「ヨコハマ地域活動・サービス検索ナビ (Ayamu)」の一般公開に向けての啓発活動として主任ケアマネジャーと協働し、「ケアマネ連絡会」等で周知していきます。地域住民へ向けての説明会も実施していきます。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	子育て世帯が気軽に参加できるイベントをわかりやすく周知するために、子育てネット連絡会と共催で、上飯田3地区の子育て支援情報一覧の冊子を刊行し、地域の関係各所に配布します。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	高齢者支援に関わるケアマネジャーの質の向上のため、事例検討会の開催や、ケアマネジャーと民生委員との交流会などを開催します。
◆ 事業報告・事業実績評価		
<input type="checkbox"/> 振り返り ○集いは感染防止の為昨年同様毎月行いました。相談で面接し家族に集いの紹介を行い、虐待であがった家族に参加を呼びかけました。入院や介護などで参加者が減少しましたが対象者にはお便りを配布し、参加希望だが参加できない訴えには(TEL)傾聴に努め常に参加メンバーの状況把握を行いました。 ○気軽に立ち寄れる居場所として、「ふれあいサロン」を実施し、ふれあい広場を会場にして参加しやすい内容で開催しました。 地域の神社仏閣や名木古木を巡る散策を実施しました。単にウォーキングするだけでなく、意外なところにお地藏さんがいたり古木を発見したりと地域のことを知ることができる機会になりました。社会参加が継続していけるように、住民主体の活動の場に、サロンや介護予防の情報提供を行いました。 ○「ヨコハマ地域活動検索ナビ」の概要説明をケアマネ連絡会等の機会で行いました。また、一般公開に向け対象となる地域活動団体へ順次説明を実施していきます。 ○上飯田町地区限定の幼稚園・保育園の未就園・未入学児向けのイベント、地域の子供向けイベントなどをまとめた冊子を500部刊行し、地域の子育て世帯及び各関係機関に配布しました。 ○ケアマネジャーの質の向上のため以下の点に取り組みました。 ・個別ケースでは、民生委員を含む地域住民とケアマネジャーとの情報をつなぐ役割を担いました。 ・ケアマネジャー同士の交流や意見交換を行える機会としてケアマネ連絡会を実施しました。また、開催時にはアンケートを実施してケアマネジャーが学びたい内容を確認しました。 ・意思決定支援や虐待、コミュニケーション技術についての研修を実施、研修の中では模擬事例に関しての意見交換会も行いました。		
<input type="checkbox"/> 区からのコメント ・生活支援体制整備事業では、泉区アクションプランの着実な推進のため、区内生活支援コーディネーターが一丸となって取組を進めていただきました。地域課題に沿った協議体を開催し、ネットワークを形成しながら一つずつ課題解決に取り組むことができ、泉サポートプロジェクトの拡充に力を発揮していただきました。次年度も期待しています。 ・介護者のつどいでは、感染対策を行いながら開催し、参加が難しい方へは個別に電話で対応するなど、柔軟に対応していただいています。また、介護予防の講座や認知症の支援者向け講座でも、1つの講座から様々な取組に繋がるよう工夫していただいています。今後も身近な支援機関との連携を密に、地域高齢者の支援・普及啓発をお願いします。 ・広報紙やホームページ、SNS等を活用し、ケアプラザの取組や地域の情報を動画にしてInstagramで発信するなど、積極的な広報の取組は評価できます。 ・ケアマネジャー同士の連携強化に向けた取組が実施できています。次年度は民生委員とケアマネジャーとの交流会開催に向けた取組をお願いします。		